

事業仕分けの判定結果に対する市の対応

昨年11月8日に実施した「阿南版事業仕分け」では、5つの事業のうち、1事業が「不要・凍結」、1事業が「国・県・広域で実施」、3事業が「要改善」という判定結果になりました。

この判定結果に対する市の対応は、次のとおりとしました。

なお、予算に関する見直しについては、令和3年阿南市議会3月定例会において、令和3年度当初予算(案)の承認を経て確定します。

また、令和3年度中に見直すこととしたものについては、決定し次第、改めてお知らせします。

【市の対応】 次の2通りとしています。

- ① 令和3年度予算及び事業計画に反映させる。
- ② 事業の見直しなどに伴う影響・効果・必要性などを検証するのに時間を要するため、令和3年度中に市の対応を決定する。

事業名	判定結果	市の対応	
婚活応援事業	不要・凍結	①	婚活応援事業（補助金）は廃止し、「阿南 de 愛隊」の活動については、今後協議する。
テレワーク推進事業	国・県・広域で実施	①	女性活躍推進を目的としたテレワーク推進事業（あなんテレワーク推進センター）を廃止する。今後は、県の事業を活用して、テレワークの推進やテレワーカーの養成に取り組む。
長寿者福祉金等支給事業	要改善	②	事業の実施方法や事業規模（一部支給区分廃止を含む）等を検証し、市として一体的に敬老事業を実施できるよう協議する。
阿南市活竹祭開催補助事業	要改善	②	「協賛金の募集」「出店料の見直し」「特産品のインターネット販売」「イベントの動画配信」などについて、関係者と調整・協議する。
科学センター学習事業	要改善	②	無料としていた工作教室の材料代等は、令和3年度から有料化し、財源確保に努める。また、施設改修や企業協賛金の募集及び小学生を対象にしたセンター理科学習費の保護者負担等については、今後検討する。

問い合わせは 企画政策課（☎22-3429）へ